



脳神経内科 神谷 雄己 准教授

脳梗塞治療のパラダイムシフト

脳神経内科開設から4年が経過しました。

この間、地域のみならず、救急隊の方々、近隣の先生方に少しずつ信頼を頂き、多くの脳卒中、脳神経疾患の患者さんに受診していただけるようになりました。この場をお借りし感謝申し上げます。

さて、この4年の間に、脳卒中、特に脳梗塞急性期診療には大きな変化がありました。これまで脳梗塞急性期の治療は、2005年に認可されたアルテプラゼ静注療法（IVtPA療法）が中心でした。IVtPA療法は、脳梗塞を点滴で治せる画期的な治療法です。認可当時、強い麻痺のあった患者さんが、点滴の後みるみるよくなっていく姿をみて衝撃を受けたことを今でも鮮明に覚えています。ただ、IVtPA療法にも限界があります。出血を起こしてしまいそうな患者さんには使えないこと、発症から4.5時間以内の患者さんのみの適応であることから、実際に使用できる患者さんは多くありません。そして最大の問題は、太い血管がつまった重症の患者さんほど効果を発揮しにくいこと。そのため、2010年頃からカテーテルによる治療（血管内治療）も盛んに行われるようになりました。脳神経内科開設以来、我々がもっとも力を注いできた治療です。

そして最近、遂にその血管内治療の有効性が証明され、IVtPA療法と並んで最も有効な治療法として推奨されるに至りました。この治療により、これまでなら大きな後遺症を残しかねない患者さんが、歩いて自宅に帰るまでに回復することを度々経験するようになりました。そんな姿を見せていただくのは、我々にとって本当に嬉しいことです。

ただそれでも、もとの生活にお戻りいただけるのは、およそ半分くらいです。半分のかたは治療が間に合わず、生活に支障をきたしてしまいます。

脳梗塞は時間が命です。重要なのは発症した時の迅速な対応です。動脈硬化の原因となる生活習慣病を多くお持ちの方、心房細動をお持ちの方は、異変を感じたら迷わず「119コール」です！



昭和大学江東豊洲病院

第54号のトピックス

- 脳神経内科紹介
- 専門看護師と認定看護師について
- イベントのお知らせ
- 「ご意見・ご要望」についての回答
- 編集後記

専門看護師と認定看護師について

「専門看護師」も「認定看護師」も特定分野における専門家として日本看護協会に認定された看護資格です。専門看護師とは、簡単に言えば看護ケアのスペシャリストです。患者さん本人の看護だけではなく患者さんのご家族や地域と連携してケアを行ったり、現場の人材育成や調整などの仕事にも加わったりするようになります。認定看護師とは、簡単に言えば、臨床現場におけるエキスパートです。高度な知識と技術で患者さんへの質の高い看護の提供や、看護実践を通して後輩指導などの役割も期待されています。

小児看護専門看護師 大橋早苗

私は2010年に日本看護協会から小児看護専門看護師の認定を受け、2014年9月から昭和大学江東豊洲病院に入職し外来に勤務しています。小児看護専門看護師は「子どもたちが健やかに成長・発達していけるように療養生活を支援し、他の医療スタッフと連携して水準の高い看護を提供すること」を理念としています。病気のことだけではなく、子どもやご家族の悩みや不安に対して、専門看護師の6つの役割；実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究を担いながらサポートさせていただくことが責務です。

当院は周産期センターやこどもセンターが併設されていて、重篤な病気を抱えた子どもも多く、高度で質の高いケアが求められています。2016年から、こどもセンター病棟・NICU・外来の3部署の看護師で月1回のミーティングをはじめました。そこでは、当院を退院した子どもやご家族が、地域の中で健やかに安心して生活できるように情報を共有しています。そして、外来受診時には自宅での生活の様子を尋ね、困っていることはないか声をかけるように心がけています。これからも、看護師や医師、助産師、ソーシャルワーカー、地域などと積極的に連携をはかり、子どもやご家族のサポーターとして活動していきたいと思えます。



緩和ケア認定看護師 笈沼智子

2011年に緩和ケア認定看護師という資格をとり、今年4月に藤が丘病院から異動をしてきました。横浜ののんびりした郊外から異動した私は、急速に発展し生命力あふれる豊洲という街によりやく慣れてきました。

緩和ケアという認定資格は、当初ホスピスケアという終末期看護の領域でしたが、2007年に現在の名称に変更されました。緩和ケアとは、『重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々ならさをやわらげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケア』とされ、最近では「早期からの緩和ケア」「在宅における緩和ケア」などが注目されるようになっています。

医師や薬剤師・栄養士などの他職種と連携を図ることによって、患者さんの痛みや呼吸困難感・食欲不振などの苦痛症状が緩和され、笑顔になったり、好きな食べ物が食べられたりした時、ソーシャルワーカーや訪問看護事業所などの協力を得て、患者・家族が望む療養場所の準備・ささやかな希望が叶えられた時は、この仕事のやりがい感を感じます。

主役は患者さんご家族です。患者さん・ご家族の「価値観を最優先」に「よりよく生きること」をお手伝いさせていただきたいと思えます。



世界糖尿病デーイベントのお知らせ



「世界糖尿病デー」イベントのお知らせ

参加無料

血糖値の測定・健康相談
糖尿病に関するパンフレットの配布

日時：2018.11.8(木) 10:00~12:00

場所：昭和大東豊洲病院

1階ホール(タリーズ前)

*1~2か月の血糖値の指標となるHbA1c
(ヘモグロビンエーワンシー)も測定します!

糖尿病の初期には自覚症状がありません。
この機会に血糖値をチェックしてみましょう。
糖尿病の知識をもったスタッフが日頃の疑問や
質問にお答えします。

申込
不要

11月14日は
世界糖尿病デー

主催：昭和大東豊洲病院

糖尿病の発症を防ぐためには、また糖尿病を悪化させないためにはどうすれば良いのか、世界糖尿病デーを前に、糖尿病について正しい知識を身につけ、今できることを考えていただくために、「血糖値の測定・健康相談・糖尿病に関するパンフレットの配布」を行います。

日時：2018年11月8日(木) 10時~12時

場所：昭和大東豊洲病院1階ホール

(タリーズ前)

内容：血糖値の測定、健康相談、

糖尿病に関するパンフレットの配布

その他：当日直接会場へお越しください(予約不要)

公開講座開催のお知らせ

第9回 昭和大東豊洲病院公開講座 『暮らしと健康』

日時 平成30年

11月17日(土)

開催

14:00~16:30

受付時間13:45~

演題 お口と健康

「お口からはじめる健康」
~生涯健康に食事するために~

昭和大東豊洲病院 歯科・歯科口腔外科 助教

安田 有沙

「元気に食べるためには」
~飲み込みの障害について~

昭和大東豊洲病院 リハビリテーション科 准教授

依田 光正

開催場所

東京都江東区豊洲 5-1-38
昭和大東豊洲病院 9階講堂

申込先 ☎03-6204-6000

お電話にて 昭和大東豊洲病院
申込ください 管理課

費用 100名
先着 費用無料

主催 昭和大東
後援 江東区



第9回昭和大東豊洲病院公開講座を開催いたします。

昭和大東豊洲病院では、住民の皆様にわかりやすく医療の知識を深めていただくために、公開講座を年2回開催させて頂いております。

つきましては、平成30年度第2回の公開講座を開催致しますので、受講を希望される方は、電話にてお申し込み下さい。

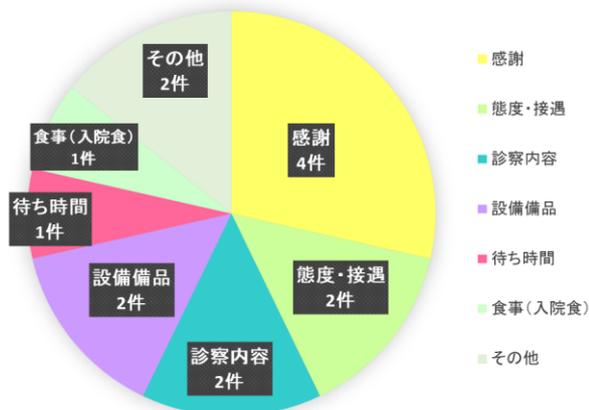
多数のご参加をお待ちしております。



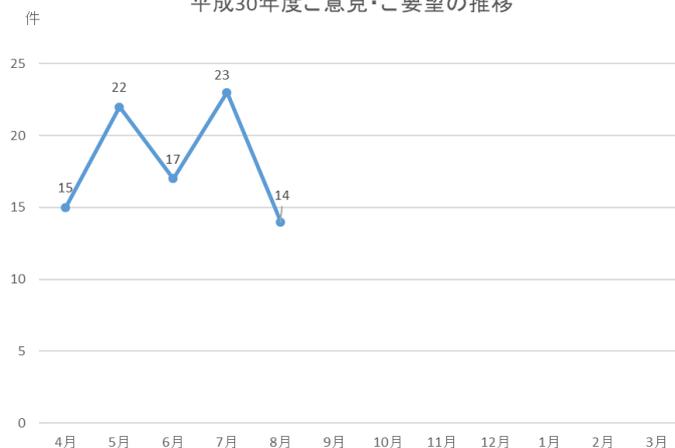
◆ 「ご意見・ご要望」 についての回答

ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>昭和大学に関する本などがあれば、デイルームに置いて欲しい。</p>	<p>この度は貴重なご意見をいただきありがとうございます。昭和大学では、「EDUCE(エデュース)」という附属病院の情報等をまとめた冊子を定期的に刊行しています。こちらの冊子は現在、当院1階に設置をしております。また、この度のご意見を参考にデイルームにも「EDUCE(エデュース)」を設置いたしますので是非ご覧ください。</p> <p>今後とも患者さんにとって快適な病院づくりに向け、施設・設備の充実に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：管理課</p>
ご意見・ご要望	回答・改善策等
<p>洗濯機について、表示がkgのみで液体洗剤の投入量(〇〇ℓ)が分からないので、水量も合わせて表示してほしい。是非、電子マネーに対応してほしい。</p>	<p>この度は、ご不便おかけし申し訳ございませんでした。洗濯機のリットル表示につきましては、洗濯機上部に設置してあります案内板の記載内容を変更し対応いたしました。</p> <p>また、電子マネー対応については、今後の課題として検討させていただきます。</p> <p>何卒ご理解くださいますよう宜しくお願いいたします。</p> <p style="text-align: right;">回答部署：管理課</p>

平成30年8月分
ご意見・要望の内訳
14件



平成30年度ご意見・ご要望の推移



編集後記 産科 西 健

猛暑の夏休みも終わり、子供たちも学校に通い街に日常がもどって来ました。年々夏の厳しさは増し、台風・集中豪雨などの自然災害の被害も新聞をにぎわす回数が増えているように感じます。都内ではニュースで見ただけの方のほうが多いかと思いますが、過去の経験だけでは想像もつかないような災害が起こっているようです。10月頃まではゲリラ豪雨などで浸水などの起こることがございます。江東地区では海拔が低いため通勤・通学・生活圏のハザードマップはご家族の皆さんで確認し避難所や起こったときの対応を決めておくことをお勧めいたします。

季節は夏から秋に移り寒い日もあるかと思えます。皆さん体調に気をつけ病院にお世話にならないよう心がけましょう。



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：長谷川 真



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ